

JA丹波ひかみ自己改革の取り組みに関する報告

1. JA丹波ひかみの自己改革の取り組みについて

政府は、農協改革集中推進期間を令和元年5月までとし、准組合員の事業利用規制や信用事業の譲渡も含めた改革の実施状況についてフォローアップを進めています。

これに対し、JAグループは、持続的な地域農業の維持・振興と暮らしやすい地域社会の実現に向けて、総合事業の展開により、「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」を基本目標とする自己改革に取り組んでいます。

JA丹波ひかみがこれまで取り組んできた自己改革の成果は次のとおりです。

2. 自己改革の成果について

【農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けた取り組み】

・目標と実績

販売品販売高	目標 23 億円	平成 30 年度実績 24 億円
組合員の新規加入	目標 350 人	平成 30 年度実績 417 人

○農業生産の拡大に向けた取り組み

取り組み	具体的な内容・目標	平成30年度の取り組み状況と結果
栽培労力の軽減対策	小豆栽培作業支援 〔目標〕 播種・溝堀・防除・脱粒・乾燥・選別の各作業の支援	播種・溝堀・防除・脱粒の各作業委託料の一部を支援するとともに28年度からは、播種機の導入助成、乾燥用パイプハウス設置助成、29年度には色彩選別機2台を追加導入し、選別作業のさらなる軽減化をはかりました。 〔30年度実績〕播種機導入助成34台・色彩選別機利用120t 乾燥用パイプハウス設置11件
面積拡大支援	生産面積拡大助成の実施 夢たんば・小豆・黒大豆・粟・山の芋の新規栽培、面積拡大に助成	丹波市特産物の新規栽培、面積拡大に対して助成を行い、生産拡大を促進しました。 〔30年度支払実績〕夢たんば18.4ha・小豆25.3ha・黒大豆3.5ha・粟0.2ha・山の芋0.07ha 合計47.47ha 支払金額：981万円
畜産振興対策	能力の高い母牛の更新・導入につとめ産地のレベルアップを図ります。 自給飼料確保によるコスト低減を推進します。 畜産農家へ訪問活動を充実します。	能力の高い母牛の更新・導入につとめ産地のレベルアップを図りました。 ・但馬牛増頭促進事業 16頭 ・営農支援対策 但馬牛導入更新対策事業 14頭 ・但馬牛繁殖経営安定対策事業 6頭 ・但馬牛改良推進対策事業 5頭 自給飼料刈取・ラッピング事業を実施しました。 ・稲発酵粗飼料 25.39ha ・イタリアンライグラス 1.76ha ・ソルゴー 1.68ha 規模に関わらず、全農家への毎月訪問を行いました。

○農業者の所得増大に向けた取り組み

取り組み	具体的な内容・目標	平成30年度の取り組み状況と結果															
生産コスト低減への取り組み	水稲共同防除助成	水稲の共同防除（無人ヘリ防除）の推進を行い、散布料の一部を助成しました。 〔30年度実績〕実施面積 515ha															
農業経営を応援する取り組み	農業資金活用支援	農業資金借入に係る利子および保証料の全額助成を実施しました。 （利子助成の期間借入日から3年間、保証料全期間分） 〔30年度実績〕利用件数 272件															
有利販売に向けた取り組み	多様な米の販売形態を活かす販売提案 丹波ブランドを活かす特産品の販売拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・JA直接販売・買取による有利販売に取り組みました。 ・贈答品や個人消費の拡大に取り組みました。 ・特産振興と6次産業化への取り組みとして小豆茶・丹波市特産粥セット（丹波大納言小豆粥・丹波栗粥）を開発し販売を開始しました。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>販売数</th> <th>発売開始</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小豆茶（ティーバッグ）</td> <td>3,435 個</td> <td>5月</td> </tr> <tr> <td>小豆茶（ペットボトル）</td> <td>15,648 本</td> <td>6月</td> </tr> <tr> <td>丹波大納言小豆粥</td> <td>3,749 個</td> <td>12月</td> </tr> <tr> <td>丹波栗粥</td> <td>2,961 個</td> <td>12月</td> </tr> </tbody> </table>	品名	販売数	発売開始	小豆茶（ティーバッグ）	3,435 個	5月	小豆茶（ペットボトル）	15,648 本	6月	丹波大納言小豆粥	3,749 個	12月	丹波栗粥	2,961 個	12月
品名	販売数	発売開始															
小豆茶（ティーバッグ）	3,435 個	5月															
小豆茶（ペットボトル）	15,648 本	6月															
丹波大納言小豆粥	3,749 個	12月															
丹波栗粥	2,961 個	12月															
地産地消の取り組み	とれたて直売所による地産地消と生産拡大の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・生産アドバイザーと一体になった生産技術の向上、周年栽培モデル推進、若い世代の出荷者育成に取り組みました。 ・新鮮・安心でおいしい野菜のPRにつとめ直売所の利用拡大に取り組みました。 															

○事業運営態勢の強化

取り組み	具体的な内容・目標	平成30年度の取り組み状況と結果
営農指導・特産販売体制の整備	特産振興部署と販売専任部署を分離・独立し、それぞれの施策を専門的かつ効果的に遂行していく体制を構築	専任営農相談員による大規模・担い手農家を中心とした全戸訪問活動により細やかな対応につとめました。販売専任担当者による、丹波市産農産物・加工品の拡販活動につとめました。

3. 今後の取り組みについて

『期待と信頼にこたえる JA 丹波ひかみ』の経営理念のもと、自己改革の成果と課題を次年度からの第10次 JA 運動3カ年計画に反映し、継続して自己改革に取り組んでまいります。

今後も、組合員の皆さまとともに話し合いながら自己改革を実践してまいりたいと思いますので、ご理解とご協力をお願いします。

JA 丹波ひかみ 第10次 JA 運動3カ年計画（令和元年度～令和3年度）の基本方針

【基本方針】

- ① 農業の振興を核とした地域社会づくりにつとめます。
- ② 皆さまのニーズにこたえる高水準な事業展開を図ります。
- ③ 時代の変化に対応できる積極的な経営改革に取り組みます。

【基本目標】

「新しい時代の農業と地域社会のために」

— 総合事業を通じて、持続可能な農業と地域に密着した協同活動を展開します —